

大田市小・中学校 情報活用能力指導体系表

大田市教育委員会

		小 学 校					中 学 校	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年・2年・3年
I （利用と情報・メディア 指導内容を含む）	ねらい	・学習に対して興味をもち、ある程度の学習の流れがわかり、自分の知りたいこと、やりたいことをもつことができる。		・自分なりの課題を立て、学習の見通しをもち、課題解決の方法を決めることができる。		・明確な課題を立て、確かな見通しをもち、解決していこうとする意欲をもつことができる。		・明確な課題を立て、解決のための適切な方法を選択し、計画的に学習に取り組むことができる。
	指導内容	○学習のめあてをもつ ・学習テーマの選択 ○情報・メディアの利用法を知る ・学校図書館のきまり ・図書の取り扱い方 図書館の使い方や決まり 本の借り方・返し方 本の場所(4・9類) 絵本の探し方		⇒○学習計画の立て方を知る ・学習テーマ、調べ方の選択 ⇒○情報・メディアの利用法を知る ・学校図書館の決まりや使い方 ・公共図書館でのサービス ○情報・メディアの種類や特性を知る ・図書・視聴覚メディア・電子メディア・人的情報源 本の種類と並び方(0～9類・E) 日本十進分類法 10区分 パソコンでの検索の仕方		⇒○学習計画を立てる ・学習テーマ、調べ方の決定 ⇒○情報・メディアの利用法を知る ・学校図書館の決まりや使い方 ・公共図書館や各種文化施設でのサービス ⇒○情報・メディアの種類や特性を知る ・図書・視聴覚メディア・電子メディア・人的情報源 ・新聞、雑誌 日本十進分類法 100区分 分類表の見方		⇒○学習の方法を考える(各教科、学活、総合) ・学習テーマの設定 …マッピング・フローチャート・KJ法・カード等の活用(国語、社会、総合) ・いろいろな学習方法 ・学習計画の立て方 ⇒○情報・メディアの利用法を知る(国語、技術、総合) ⇒○情報・メディアの種類や特性を知る(国語、技術、総合) ・本の読み広げ方(国語3)
II 学習に役立つ メディアの使い方	ねらい	・いろいろな方法で情報を集めることができる。		・多様な情報源から、課題解決のために必要な情報を選択し、収集することができる。		・多様な情報源から、課題解決のための適切な情報を見分け、収集することができる。		・課題を解決するため、効果的な情報手段を選んで必要な情報を収集することができる。
	指導内容	○学校図書館を利用する ・レファレンスサービス ・ラベルと配置 ○課題に応じてメディアを利用する 図鑑の利用1(目次を使う) 図鑑の利用2(目次・索引を使う)		⇒○学校図書館を利用する ・コンピュータ目録 ・分類の仕組みと配置 ⇒○課題に応じてメディアを利用する ○公共図書館を利用する 図鑑の利用3(目次と索引の使いになれる) 地図の見方(町や市の地図)		⇒○学校図書館を利用する ・コンピュータ目録 ・分類の仕組みと配置 ・カード目録 ⇒○目的に応じてメディアを利用する ⇒○公共図書館を利用する 百科事典の利用1(百科事典を使う) 地図の利用1(県の地図) (地図帳を使う) 年表の見方・作り方 漢字辞典の利用 インタビューの仕方3(心構え) ファックス・電話の利用 アンケートの取り方 パンフレットの利用 インターネットの利用		⇒○学校図書館を利用する(各教科、学活、総合) ・図書館の利用の仕方(学活1) ・分類、配架の仕組み(国語1) ⇒○課題に応じてメディアを利用する(各教科、学活、総合) ・国語辞典、漢和辞典、百科事典の利用(国語1) ・目次、索引の利用(国語1) ・資料の活用(地理、数学、理科) ・図鑑、理科年表の利用(理科) ・写真の読み取り(社会) ・白書の利用(公民) ⇒○各種施設を利用する(総合、特活)
III 情報の活用 の仕方	ねらい	・自分に必要な情報を正しく記録することができる。		・自分に必要な情報を見つけ、要点を記録することができる。		・情報を整理し、事実、引用や要約、自分の考えを区別して記録することができる。		・様々な情報源から収集した情報を比較し、必要とする情報や信頼できる情報を選び取ることができる。 ・情報手段を用いて処理の仕方を工夫することができる。
	指導内容	○情報を集める ・各種メディアの活用 ・人的情報源の活用 ○記録の取り方を知る 絵と文による記録の仕方 カードの書き方		⇒○情報を集める ・各種メディアの活用 ・人的情報源の活用 ⇒○記録の取り方を知る ⇒○利用上の留意点を知る ⇒○必要な情報を選ぶ メモの取り方1(番号・記号) ⇒ 抜き書きの仕方		⇒○情報を集める ・各種メディアの活用 ・人的情報源の活用 ⇒○記録の取り方を知る ⇒○利用上の留意点を知る ⇒○必要な情報を比較し、評価する ⇒メモの取り方 ⇒情報カード ⇒要点・要約 ⇒著作権 ⇒引用の仕方		⇒○情報を収集する(各教科、学活、総合) ・各種メディアの活用 ・人的情報源の活用…インタビュー、アンケート(国語1・2、歴史、総合) ⇒○効果的な記録の取り方を知る(各教科、学活、総合) ・ノートの作成法(国語1) ・カード、付箋の利用(国語、社会、総合) ・メモの取り方(国語1・2) ・要約の仕方(国語) ・AV機器等を使った記録の取り方(総合) ⇒○参考図書の使い方の留意点を知る(各教科、学活、総合) ・参考文献、出典の書き方、引用の仕方(国語1、技術、総合) ⇒○必要な情報を比較し、評価する(各教科、学活、総合)
IV 学習結果 のまとめ方・ 表現の仕方	ねらい	・自分の思いや考えを大切に、いろいろな表し方でまとめることができる。 ・まとめたことがよくわかるように発表することができ、友達の発表に感想をもつことができる。		・自分の思いや考えを大切に、いろいろな表し方でまとめることができる。 ・まとめたことがよくわかるように工夫して伝え、友達の伝えたことに対して自分の考えを伝えることができる。		・情報を吟味しながら、自分の考えを取り入れ、内容や目的に応じた適切なまとめ方をすることができる。 ・相手の発表の場によって表現の仕方を工夫し、互いの考えを交流することによって自分の考えを深めることができる。		・内容や目的に応じて、学習の結果を効果的にまとめることができる。 ・自分の考えを整理し、受け手に伝わりやすいように表現を工夫して発表したり情報を発信したりすることができる。 ・学習の過程や結果を相互に評価し、自分の考えを再構築することができる。
	指導内容	○学習したことをまとめる ○学習したことを発表する ○学習の過程と結果を評価する 手紙の書き方1(したこと) 感想の書き方		⇒○学習したことをまとめる ⇒○学習したことを発表する ⇒○学習の過程と結果を評価する 葉書の書き方(形式) 表やグラフの作り方 説明書の書き方2(箇条書き・見出し) 研究レポートの書き方 本の作り方		⇒○学習したことをまとめる ⇒○学習したことを発表する ⇒○学習の過程と結果を評価する 手紙の書き方2(礼状) ⇒ 新聞・文集の作り方 ⇒ ⇒本 ⇒写真の取り入れ方		⇒○学習の結果をまとめる(各教科、学活、総合) ・評価した情報の整理(国語2、総合) ・伝えたいことの整理(国語2・3、総合) ・グラフや表、写真や図などを取り入れた資料作り(国語1・2、理科、総合) ・レポート(国語1、社会、理科、総合) ・案内文、鑑賞文、ポスターセッション(国語1) ・手紙、意見文、新聞(国語2) ・批評文、ポートフォリオ(国語3) ・映像メディアの活用 ⇒○まとめたことを発表する(各教科、学活、総合) ・スピーチ(国語1) ・記者会見型スピーチ(国語3) ・プレゼンテーション(国語2、学活、総合) ⇒○学習の過程と結果を評価する(各教科、学活、総合) ・調査、研究の方法 ・調査、研究の過程 ・成果の評価